

# 【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2023年度)

施策コード	16
-------	----

まちづくりの方針	1 保健・医療・福祉
施策	6 高齢者福祉
施策のめざす姿	地域包括ケアシステムの推進により、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けています。また、介護保険サービスの運用の効率化や利用の適正化を図ることで、介護保険制度の持続性が保たれています。

まちづくり指標	現状値 (2019年度)	実績値					目標値	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2030年度
要介護認定率(65～74歳)(%)【高齢介護課】	3.6	4.0	3.9				3.5	3.3
要介護認定率(75歳以上)(%)【高齢介護課】	27.9	27.6	27.0				28.5	31.9

施策の方針	担当課	実績・成果
		今後の方向
1 地域包括ケアシステム推進のための取組【重点】	高齢介護課	地域包括ケアビジョンを策定し、津島市としての地域包括ケアシステムの方向性を定め、電子@連絡帳の活用や地域包括支援センター等により、地域包括ケアシステムの推進を図った。 地域包括ケアビジョンの進捗管理を行うとともに、その時々状況に合わせた対応をしていく。
2 介護予防・健康づくりの推進	高齢介護課	長寿教室等の介護予防普及啓発事業を行うとともに、高齢者が安心して暮らせるよう在宅福祉サービスを実施した。 介護予防の意識向上やきっかけづくりの長寿教室、通いの場等充実を図る。
3 認知症高齢者支援の充実	高齢介護課	認知症サポーター養成講座の開催や認知症初期集中支援チームの活動により、認知症の早期発見、進行の抑制に努めた。 現在の活動に加え、認知症当事者の意見を反映した事業を展開する。
4 持続可能な介護保険制度の推進・強化	高齢介護課	収納活動など保険料収納率向上に努め、普通徴収収納率が前年度よりも0.46ポイント増加し、93.84%となった。 収納率向上に努めるとともに、介護保険の適正給付に努める。

総括評価	施策のめざす姿の達成状況	誰もがいつまでも住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域包括ケアシステムの推進が図れている。	評価
			B
総括評価	施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと	地域包括ケアシステムは、社会情勢等により必要となることが変わるので、関係機関との情報共有や連携に努める。	方針
			継続